

## おすすめの研修プログラム例

**研修時間** 2時間でも実施可能ですが、3時間以上がおすすめです！

**タイムスケジュール** (例：3時間、講師2名の場合)

0:00～0:05 (5分) 導入・主催者あいさつなど  
0:05～0:50 (45分) 講義「『インクルーシブボランティア』の環境づくりのためのコーディネーション」  
0:50～1:50 (60分) 事例検討ワークショップ  
1:50～2:00 (10分) 休憩  
2:00～2:30 (30分) 心理・メンタルヘルスの専門家からのアドバイス  
2:30～2:50 (20分) まとめ・質疑応答  
2:50～3:00 (10分) アンケート記入・その他案内など



講師一人で上記のような基礎的な研修を行った上で、専門家によるスキルアップ研修を後日実施するなど、複数日程での研修企画も可能です。ご相談ください。

研修では、現場のコーディネーターのためのハンドブックをテキストとして使います。  
※なくなり次第無料配布終了



←こちらからご覧いただけます

## 研修企画・講師派遣のお問合せ・お申込みについて

### 01 お問合せ

まずは、お問合せフォームまたはメール・電話でご連絡ください。

※お電話の場合は「インクルーシブボランティアの研修の件」とお伝えください。

お問合せフォーム→



### 02 相談 & 調整



詳細を伺い、講座内容 & 講師を決定し、講師料についても、ご相談のうえ決定します。

### 03 契約



所定の「講師派遣依頼書」を提出ください。その後は、直接講師と内容についての打合せをお願いします。

## 講師派遣料について

### 5万円以上+交通費実費相当額 (1回2時間以内・講師1名の場合)

当協会は、主に事業収入・会費・寄付で運営しており、打ち合わせや資料等の準備コストを考慮して、講師料のめやすを設定しています。講師によって基準が異なりますので、詳しくは個別にお問合せください。

\*本講師派遣事業は、社会福祉法人の第二種社会福祉事業にあたるため、非課税となります。

## ご依頼・お問合せ先

### 社会福祉法人 大阪ボランティア協会

(※このパンフレットは令和6年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を活用して作成しました。)

「インクルーシブボランティア」のコーディネーションモデル構築事業

～誰もが参加できるボランティア活動の支援体制づくりに向けたコーディネーター研修プログラムの開発～

〒540-0012 大阪市中央区谷町2丁目2-20 2階 市民活動スクエア「CANVAS谷町」

TEL 06-6809-4901

FAX 06-6809-4902

MAIL office@osakavol.org

HP <https://osakavol.org/>



## みなさんの現場でこんなお悩みありませんか？

誰も排除しない居場所をつくりたいけど難しい・・・

みんなで決めた活動上のルール。何度伝えても守れない人がいる・・・

感情的になったり、攻撃的になる人にどう接していいかわからない

## こんなお悩みについて、解決へのヒントが得られる「インクルーシブボランティア」の研修・講座を開催してみませんか

メンバー内で人間関係がうまくいかず、もめてしまう

相談者やボランティアとのコミュニケーションがうまくいかない...



### 「インクルーシブボランティア」とは・・・

年齢や国籍、病気、障害の有無等にかかわらず、活動したい誰もが合理的配慮のもと、その人にあった多様な形での参加ができる、そんなボランティアを私たちは「インクルーシブボランティア」と呼んでいます。中でも、コミュニケーションに難しさがあったり、生きづらさを抱えた人たちが活動につながりにくいという現場のコーディネーターの声を受け、まずはそこから取り組んでいます。本研修では、インクルーシブな視点を取り入れたボランティアコーディネーションのポイント、事例検討ワークショップ等を通して、わかりやすくお伝えします。

社会福祉法人大阪ボランティア協会

# 多様な参加者のニーズに応える研修メニューを提供します

**対象**  
生活支援コーディネーター  
重層的支援体制整備事業担当者

## 学べること

誰もが地域で居場所と役割をもち、安心して暮らせる「参加支援」に必要な視点やプログラムづくりのコツを学びます。また、本人への相談対応に加え、排除しない環境づくりのための、地域への働きかけについてもお伝えします。

### 講座タイトル(例)

- 誰もが地域で居場所と出番をもてる「参加支援」を実現するためのコーディネーションとは
- ひとりひとりの強みを生かした地域とのつながりづくり

施設利用者と地域とのつながりをつくりたい就労支援事業所等のスタッフ向けにもおすすめ!

**対象**  
ボランティアセンター、市民活動センターなど中間支援組織のコーディネーター、生涯学習(社会教育)関係者や行政職員

## 学べること

障害やメンタル不調などで生きづらさを抱えている人やコミュニケーションに難しさがある人など、多様な人からの「なにかしたい」と思いをつなぐコーディネーションを学びます。相談対応やプログラム開発、活動者や受け入れ先へのフォローアップなどを、事例検討や現場の悩みを持ち寄るワークショップを通じて考えます。

### 講座タイトル(例)

- 活動の場につなげにくいボランティア活動相談への対応のコツ
- 生きづらさを抱える人からのボランティア活動相談の対応のポイント

**対象**  
施設・団体の  
ボランティア受け入れ担当スタッフ

## 学べること

ボランティアを受け入れる施設や団体で、多様な人たちが参加できる環境をつくり、活動の継続をサポートするために必要な準備や、ひとりひとりの強みを生かせるボランティアマネジメント、ボランティア同士のチームワークを促す際のポイントについて考えます。

### 講座タイトル(例)

- ひとりひとりの個性を生かすボランティアプログラム開発のポイント
- 「違い」を「価値」に変える、社会参加支援のコツ

**対象**  
ボランティアグループ、  
地域活動のリーダーやメンバー  
団体支援・地域支援をしている専門職

## 学べること

地域のボランティア団体や地区社協、地域住民組織などでは、さまざまな立場の市民が関わります。お互いに気持ちよく活動できるようなコミュニケーションのコツや、新たな担い手が参加しやすく、活動を継続してもらえる安心・安全な活動の環境づくりについて学びます。

### 講座タイトル(例)

- 仲間同士のコミュニケーショントラブルをなくそう
- 新たな担い手が増えるために必要な環境の場づくり

## 参加者の声

役割を持って地域につながることで、本人のモチベーションにつながると感じました。  
(生活支援コーディネーター)

その人の強みを見つけて、活動できる場を一緒に探していくことが大事ですね。  
(障害者支援施設職員)

相談者の問題とせず、周囲の環境づくりの視点をもつことで、受け入れ団体へのアドバイスや関わり方が変わることを学びました。  
(市民活動センタースタッフ)

ボランティアコーディネーションの基礎と事例紹介で、具体的に理解が深まりました。  
(社会福祉協議会ボランティアセンター担当者)

ボランティア、施設の職員、利用者にとって意義のある受け入れについて考えることができました。  
(障害者施設ボランティア受け入れ担当者)

発達特性を理解した上での活動支援のポイントが生かそうです。  
(児童デイサービススタッフ)

特性のない人なんていない。だから一緒にやっていると楽しいと思えました。  
(障害者支援のボランティア団体代表)

攻撃的なメンバーがいて困っていたが、相手の捉え方や接し方の参考になりました。  
(地域のこども食堂スタッフ)



## スキルアップのためのプログラム紹介



心理やメンタルヘルスの専門家による、発達特性や相談対応のポイントに関する講座もおすすめ!

相談者と適切な距離を保ちながら、コーディネーター自身のメンタルヘルスを守ることも大切です。

### コミュニケーション

メンバー同士の人間関係がうまくいかない、伝えたいことがうまく伝えられないという場面におけるコミュニケーションの方法や考え方を学びます。アサーティブコミュニケーションのトレーナーによるロールプレイ演習もできます。

### 発達障害の特性と対応のポイント

相談対応に生かせる発達特性の捉え方について学びます。参加者自身の発達特性に気づくワークショップの実施も可能です。ひとりひとりの特性に応じて活動をサポートする時に押さえておきたいポイントを専門家から説明します。

### 精神障害への理解と対応のポイント

精神保健の現場経験豊富な専門家から、精神障害に関する基礎知識や相談対応のポイントを説明します。相談者との距離のとり方や、相談者のことをより深く理解するための面談技法などについてのロールプレイ演習もできます。